

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方を学びどのようにして作るのか  
写真の撮り方も学び話を聞いて同感  
しました。1ライやるワークでのメモのとり方  
を分かりこれで安心して取組みができ  
ると思えました。せっかく話を聞いた  
ので無駄にしないように取組みよう  
と思えました。今まではあまり深く考えず  
に新聞を書いていたが話を聞いて  
深く考えることができ分かりやすく書くこ  
とができるとよかったです。

新聞はなにかすこくめちやくちと奥が深  
いことがわかりました。

新聞を書く時に何かめちやくちと  
ていねいに見る人が分かつてた工夫が  
たくさんあって「なにかすこくめちやくちと奥が深  
い」と思いました。

なのでトライやるウィークが  
がんばって新聞を聞いたこと  
を使って上手に書きたい  
なと思いました。

僕は新聞を作るのに一番がんばりたいことは、インタビューです。僕は初めて会う人や知らない人と話すのが苦手でトライやる・ワークで会う事業所の人には1週間お世話になるけど、仲良くなるわけじゃないのでインタビューではできるだけ々の場を盛り上げて楽しくできるように(教えてもらいたい)にしたいです。

新聞の書き方で一番驚いたのは、インタビューなどをしてから早く新聞を書くことです。インタビューをしてから頭の中で少しこうせいを考えてから書くんじゃないかと思って書いてそれで誤字もなく新聞を作るのにおどろきました。

新聞を書いていて誤字があると周りの人の信用を失うと知った(自分も気おつけたい)

新聞書き方講座で学んだことを生かして作れるようにしたいです。

私は新聞の書き方講座を受けてインタビューやメモまで全部のこうていが大切な人だなと思いました。インタビューでも相手の質問からとんとん話を広げていて、メモでは重要な所を相手の話のなかから探してかじょうがきのようにかいたりしていました。新聞は浅く質問した内容をたくさんかくのではなく、そのものごとをできるだけ深くほりさげてできるだけおしくかくのが大事な人だと思いました。今回の講座を受けて新聞をかく前段階の準備も大切なことが分かったのでどの作業もできるだけ真剣にとりくんでいい新聞がかけたらいいなと思いました。だから講座の内容をしっかりと返って1つの作業の大切な所をまとめ、この講座をいかしていけるようにしていきたいです。

新聞は、どこにどんな写真をつけるか、どこに何の話題を  
 もってくるか、インタビューは、5W1Hがとても大切でメモ  
 は自分が感動したところに印をつけて後で分かりやすくする  
 とかたくさん工夫がされていることを知って、とてもすごい  
 と思いました。私が今まで書いてきた新聞と売られて  
 いる新聞と何がちがうのだろうと思っていた疑問も今日  
 のお話を聞いて分かった気がします。もっと色々なことを  
 こだわって新聞はつくられて読者に届くんだと分かりました。  
 私が今回この講座を受けて、一番心に残ったことは、よい  
 写真のとり方です。今までは、一番とりたいものを中心  
 にしてとるのがよいと思っていたけど、中心じゃなくて少し  
 ずらしたりする方がかこよく見えるし、全方向からもとらない  
 といけないし、インタビューの人の写真は動いている途中を  
 とったらインタビューをうけてる感じがよく見えて、すべてのこと  
 にびっくりもしたし感じしたからです。これらのことを  
 トライやる・ワークの新聞に活かしたいと思います。

インタビューの仕方、新聞の記事の書き方について、色々学びました。インタビューをするときは、①下調べをして質問すること考えます。(完璧にはしなない)②段取りを決めすぎないことなどがあります。また、事前に考えておく質問は、3つで質問するときは、3つという姿勢で臨んだらいいということが分かりました。質問のなかでも、オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンがあり、混ぜて使うことが良いと学びました。記事になるように、具体的に聞いたこと、変化も聞いたこと、比較して聞くことが大切です。先入観にとらわれないうことも大切です。インタビューを楽しんでいただき、最後まであきらめないように頑張ることです。記事を書くときは、4つ大切なことがあります。1つめは、SWIHで、文字を書くこと。2つめは、見出しで興味を引くこと。3つめは、喜びを自分の言葉で書くこと。4つめは、字の大きさ、形、色を工夫することです。などと色々、学びました。このほかにも、たくさん学びました。私はこの中で記事を書くときSWIHを使って書いたら良く書けるということに驚きました。新聞ではないけれど、何かの記事を書く勉強が、いくつかあり、そのような課題に毎回、毎回「すごくなやんで書いていましたか」。SWIHを記事に書くときに使うと、ますます書けそうだなと思いました。このように、今回で学んだことを、トラヤのワークハ行っで新聞を書くときに、

りかいたこと  
思いました。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて 思ったことは、インタビューをおこな  
は、一つの話題から、言を広げていくことが大事なんだと  
思いました。私も用意した質問に対して、それをインタビューから答えるという  
のもありかもしれないけれど、言の内容をふまえた上で質問をした  
ほうが読者読時、具体的に、分かりやすいと思はれる。記者自身が  
伝えていると思うので、インタビューでは質問の内容をふま  
えた上で、もっと質問をどんどんすると思います。そして、  
タイトルにも工夫を入れていけるように思います。  
また、当り前のことだけれど、あいさつや礼儀を大切に  
していきたいと思います。

新聞を作成するときには、濃く濃い文字で  
書いて、その書いた文章を見直して、誤字、脱字をい  
かさないかというのを確認をしないと思  
います。

インタビューではおろかじめ 下調べをして、イ  
ンタビューをおこなう、ニュースを書くとき 5W 1H (何、  
どこ、いつ、どのように) を取り入れて、新聞を書きたいと  
思っています。

僕は新聞書き方講座を受けて、教えて下さったことを生かし、インタビューの仕方から記事の書き方などを工夫して、一年生たちにわかりやすく伝えていきたいと思いました。

僕が行く所はスーパーでけっこう知られているけれど、だからこまろちりと伝え、わかりやすい記事を書きたいです。

具体的にインタビューでは、下調べをほとんどにして、あらかじめ聞きたいことを絞ること、また記事を書くときには、レイアウトを工夫することや、目立ちやすく見立しにすることを意識していきます。

あとは、誤字や脱字、虚の情報がないかなどのミスに注意していけば、わかりやすい記事が書けると思いました。

このトライやる・ワークを通して、自分が体験して終わりにするのではなく、それをしっかりと伝えていくことが重要だと感じました。



新聞書き方講座を受けて

○ 新聞の書き方について色々な事(インタビューの仕方、写真の取り方)などを教えてもらい、新聞を作るには1つ1つを大切にしたり分岐りやすくするの大切だんだんと思ひました。

○ 今日、教えてもらい、大事を新聞を作る時に役立てて、今まで一番良い物を作って次の2年生産が見てよく分かるようにしたのです。

↳ そのために、1つ1つを忘れないように、トライアンドエラーで行く所ですとインタビューを取りより良く作業できるように頑張りました。

○ 色々を教えてもらったので、初めて知る事などもあったので新聞作りだけではなく、この巻(今後)の役に立つように取り組んでいきます!!

○ 見立しの書き方など、あまり分からなかった事や沢山あってあまり覚えられなかった。なので、新聞を作る時には皆が読めたかと思ふような見立しにして、その見立しにあたり写真や文を書けるように1日1日を大切にしたり、より細かい事で教えてもらいようとしたのです。

新聞の書き方講座を受けて学んだことを生かして  
 トライやる・ウイークの新聞を良いものには合わせたい  
 です。学んだことは、4つあります。1つ目  
 は、知ったかぶりせず、素直に「そうなんだ」  
 と思ったことは伝えたり、話を聞いているときは、  
 相づちを大切にし、相手のリズムに合わせてリ  
 ードすることが「大切だ」と思いました。2つ目は、先入  
 観にとらわれず、インタビューを楽しみ、インタ  
 ビュー後のこぼれ話もしっかりメモをすることが  
 分かりました。3つ目は、新聞を書くときに、  
 1行10文字〜15文字ぐらいが「ベスト」ということ  
 を知りました。(その時の行の長さにもよる...)見出し  
 をつける時に大切なのは、大切な情報だけで  
 かんけつに。新聞で文を書くときに初めに大切な  
 情報を持っていくことで、急に入ってきたニュースを  
 文の後半部分を削ってニュースを持っていくことが  
 できるからです。4つ目は、新聞を書くときに、編  
 集後記など感想をかき、記事・写真は適量を  
 心掛けて書きたいです。中々な記事をトライやる・ウイーク  
 では体験できるので、そのことをしっかりとめたいです。

僕は新聞書き方講座を受け、

トライアル・クイズでもしかしたらニュー

ズ、そこで聞いたことを書かりやす

い記事にしていきたいと思いました。

僕は新聞や作文を書くのが苦手です。

今まで新聞を書くことはありましたが、

ほぼ全て系内得のいい記事

にしおが、していました。しかし、今日の

講座を受けただけで今更にも系内得のい

かない記事しか書けなかったのだらう

と思っていた疑問がなくなりました。

なので、今更にもより上手い

記事にできると思います。

だから、僕は今日の講座を受け、書

かりやすい記事にしていきたいと思

いました。

今回の新聞の書き方講座では、インタビューの仕方から写真の撮り方見出しの付け方などを教えてもらいました。下調べでは完璧にしないことだ、たり、事前に考える質問を3つくらいにするなど、インタビューをする際に役立てていこうと思いました。6W2Hを意識してインタビューをしようと思います。また、具体的に、変化、比較して聞いてみようと思いました。相づちなどをして相手のリズムに合わせて話せたらいいと思いました。先入観にとらわれず、ゆくりと最後まであきらめずに取り組みたいです。写真を撮る時には三角形や逆三角形を利用したり、対象の物が中心にこないように色々な角度から撮ったり人が動いている時には連写をしてみようと思いました。記事の内容では重要なことを前に書いたり、誤った事を書かないようにメモを取る際に、相手に書いた字が誤った字では



私は今日の新聞書き方講座を受けて、初めて知れたことが2つあります。

1つ目は、写真にフリーズで、私はしっさり、いい写真をとるためには、とりたい物を真ん中にしてとる方がいいと思っていました、だけど、ゴルフボールとかパスタの例を見てそうじゃないんだということが知れました。

2つ目は、逆三角形にフリーズで、今まで国語などで習ってきた文章は、最後に結論が書いてあるものの方が多かったけど、記事などを書く時には、先に結論を書き、後で説明を加える逆三角形の方が、読者に的確に伝わりやすいということが知れました。

2つとも、初めて知れたことだけど、いい記事を書くのに大切な事だと思うので、覚えさせていただきます。

インディゴの仕方で「W」や「I」などを学び、  
 記事の書き方や記事の見出しなどや  
 アウトの仕方を学びました。そして、僕が「何故か」  
 トライやるはなに「カ」について教えてもらい、  
 インディゴでは具体的や変化、比較をしな  
 がら聞くことや先々意見にとらわれず相  
 手のリズムに合わせてることが分りま  
 した。聞き上手になるには「ア」や「イ」が「ない」と  
 が分りました。記事の書き方では、  
 正確さや豊かさや「大」で「見出し」や  
 逆三角形などを使うとよいことが分  
 かりました。

これからトライやるをやって新聞を作る  
 ときには、新聞書き方講座の系譜を  
 生かして新聞を書きたいと思ひます。

私は今回の講座を聞いて、ただ書くだけでなく、  
 色々なことを考えて、書いていっていることがすこ  
 く大切なことだと分かり、新聞に關係すること  
 だけではなくても講座で教えてくれたことを意識  
 できたかなと思います。19日 - の時に教えら  
 れたことは仕事などで聞いたりする時や、めうえの  
 人は使ったりする時に使うかもしれないと思いま  
 した。19日 - する時は相手の気持ちや、受け取り  
 方も考えながら、×を直し、しゃべるといってもあつか  
 しいことで、トライやるでは相手の人がいそがしくおい  
 時間などのタイミングもあるので、あせって終わってしまう  
 かもしれないけどがんばりたいです。トライヤ  
 ーでは自分たちでしかかかると重かけるようにしたいと  
 思っています。今回の聞いたことをいかして、自信を  
 持っていきたいです。



新聞書き方講座を受けて思ったことは、自分は、文章の内容を考えたり、新聞を作ったりするのが苦手で、全然分からなかったけど、あの、おし……さんの話を聞いたら、少しは考えたり、作ったりできると思えた。

写真のとり方や、みだしの決め方、人に質問するときのメモのとり方もよく分かったから、トライやるウィークの新聞作りで、役がてるようにする。

事前に考える質問の柱は3つにするとか、7分という姿勢で臨むことやったり、自分の分からないところをたずねて、分かったし、口に埋める言葉の答えをただ言うのじゃなく、色々な人に答えは、どうなったのかを聞いていたりするところか……と思ったり、あんなに楽しかったし、新聞書き方講座を受けてよかったなと思えました。

新聞書き方講座を受けて

新聞を書くときに、What. だに、When いつ、Where どこで、  
Why なぜ、Who だれが、How どうやって書くのが分かりました。  
それと質問を3つぐらい考えるのが分かりました。

新聞書き方講座を受けて

新聞の書き方講座を受けて  
今日ながら、たこをいかして  
トライヤルウィークでいっせんし、新  
聞もながらた書き方で書きたい  
です。

新聞書き方講座を受けて

私は、今回の「新聞書き方講座」を受けて、新聞をつくるためには、たかさんの工夫がいろいろあることを知りました。写真の取り方や、レイアウトの仕方、写真の撮り方、また、読者の興味をひく、タイトルの考え方などをおそわりました。私は、今回の講座を受けて学んだことの中で、「6W2H」を特に意識して、インタビュー、新聞作りをしたいと思います。「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「なぜ」「どのように」「どれくらい」の7個をインタビューで、おおまかにメモして、それを簡潔に分かりやすくまとめられるようにしたいです。また、誤字脱字がないように、インタビューのときに、相手に漢字を書いてもらう、たすたいと思います。

私は、新聞をあまり読まないので、  
 書き方が、分かりなかつたけれど、  
 読みやす、分かりやす、新聞の書き方を  
 学んで良かったです。たとえば、  
 「いつ、どこで、誰が、なぜ、どうした」  
 どのように、どれくらい、現在、過去、  
 未来などを書く方が良、これも  
 分かりました。インタビュー術は、下調  
 べをするが、完璧にしすぎないこと。  
 段取りを決めすぎないこと。聞き上手に  
 してしゃべりすぎないこと。など色々なこと  
 が分かってとてもためになりました。  
 インタビュー中は、先入観にとらわれない  
 ことも大事だと知って自分はいつも  
 先入観にとらわれずに行っていたので、もっと  
 クリーンな気持ちを持って、インタ  
 ビューをして、みたいと思います。

私は「新聞書き方講座」を受けて思ったことは2つあります。まず1つ目は、新聞の書き方をあらかじめ知れたことで書き方がよりいっそう分かった。書き方だけではなく、インタビューするときにどのようにしてインタビューをしたら良いかなどが分かった。あと、見出しの内容もなるべく分かりやすく内容に合ったものを考えて書く。

2つ目は、写真のとり方です。普通にとるよりも三角形になるようにとったりバランスなどを考えてとったりして工夫をしてとると良いことが分かった。あと一番大事なことは「普通な写真をのせるのではなく、しっかり文章に合った写真をのせるようにする。

私は新聞書き方講座を受けてしゅざいのしかたも色の構成と、見出しの書き方とかなどいろいろ深く考えられているんだなと思いました。実際にまわりの友だちにインタビューしてみたりとか、話し合いをしてみても難しいと思いました。質問考えて聞いてXもしてそのままかけは簡単!と書いていたけど1文を12文字くらいにまとめないといけないとか、私は文を長々と書いてしまうタイプなので12文字におさめないといけないのはめっちゃ難しいと思いました。新聞だからきれいな文字で書かないといけないし、写真もはなしの内容にあつた写真をとらないといけないし、色もちゃんと決めないといけないし難しいなと思いました。英語の5W1Hを使うことも意識しないとけないし、ちゃんとしゅざいもして内容の濃い新聞に出采あかるようにかんがえたいと思います。

新聞書き方講座を受けて

私は今まで新聞に興味を持たなかったことばかりで、書いた経験もあまりなかったのでものをこの書き方講座を受けてとてもすばらしいなと思いました。

い、しゅんで取材をしてすばらしい文字の量を書いてそれを1日として新聞を出すのはしんどいし本当にすばらしいことだと思っています。

自分がいっつラスをするとなん万人の人にぬいぬいをはかけるので責任のある仕事だかなーと思いました。

私は小学校で新聞を書いた時、大見出し小見出しを書いてまとめた方がいいと思っていたけど、相手がいみじみするように、分かりやすいように、興味をもつようににはできてなかったなと思うので、これからこうせいを考えて作ってきたいと思っています。

知らないことをはかりてすばしく勉強になったと思います。今後活かしていきたいです。

自己満足ではなく相手がいという感じのやりかたを思いうかを考えて新聞を作っていきます。



私は新聞の書き方について教えてもら前はあまり写真の上手な取り方や新聞の間取りがよく分かりませんでした。でも今回くわしく教えてもらって新聞はどのようにしたら分かりやすいかや色づがいなどをどのようにしたらよいのかを学ぶことができました。新聞は人が見やすいように間取りを考えたり工夫することも大事だということも教えていただきました。書くときの字もきたなくてもよりから自分なりに上手に書けばよいということも学びました。私は新聞を書くのにトライやるウィークでのインタビューや学んだことを自分でしっかり意識しながらやることも大事だと考えました。だから自分の事業所で特にインタビューもがんばりたいです。新聞作りは苦手だけれど自分なりに工夫して間取りも考えて作りたいです。神戸新聞の方に例なども使って説明してくれたので見出しのつけ方も分かりました。トライやるの新聞作りにこの教えてもらったことをいかしていきたいです。

三好さんから話を聞いて、私も、教えてもらったことを生かして、文章を書いたと思いました。

たとえば、5W1Hは、いつ(When)どこ(Where)誰が(Who)何を(What)なぜ(Why)どのように(How)などに加えて、時間軸(過去⇐現在⇒未来)を意識して書くというのは、新聞だけでなく、国語の勉強の作文や、物語の要約にも使えるので、覚えておきたいな、と思いました。

写真の取り方も、対象の物を三角にうつす方法だったり、対角にうつす方法を用いて、見た人がおもしろい見えるような写真を取りたいです。そして、いまの中学1年生へ、トライやるのみよくを伝えたり、「自分もやりたいな」と思ってもらえたりする、新聞をつくりたいです。

トライヤル・ワークの新聞の書き方講座を受けて

ます、インタビュー術とか、記書の書き方、ほか、

色々おしえてくれました。

1つ1つ意味が分かりやすく、よくわかりました。

私は、三好さんが教しえてくださった事を、

いかして、トライヤル・ワークの新聞をがんばってかきた  
いと思います。

あと、一番よく分かったのは、取り方で、

矢嶋が、写真を取ったのと、ネットのいい写真を

比べると、少しネットの方がすごいので、私は、

そのすごさとかをいかして、トライヤルの写真をとって、

新聞にいい写真を乗せれるよう、がんばって

いきます。

三好さんの<sup>説明</sup>は、すごく分かったのて、

新聞を書くとき、それをいかして

がんばっていきます。

新聞の書き方やインタビューのくわしい  
仕方などが分かりました。

新聞の書き方は写真の使い方も  
見出しの使い方も矢口おてよ方承  
けです。

インタビューの仕方(は)下言問ですわ  
段取りを決め持たないわ6w2H  
+時間軸由意言識取ことなじがわか  
りました。また車前に考える瞬間の生  
けるつてその上<sup>初</sup>の<sup>初</sup>で<sup>初</sup>意<sup>初</sup>を  
こじなじが分かりました。

ぼくは?の新聞書き方であらねあきこじ  
佳かしたトライするウー17の新聞を  
1作りたいです。

ほぼは新聞書きかた講座をうけてとても「勢い」  
 が大事だと思いました。どうしてかという、いさ  
 困ったときも勢いがあるよとんなこと  
 できると思、たからだよ。なぞとんなこと  
 できると思、たのめかというと僕のかんか  
 いよといは、「元気」たからだよ。元気があれば、  
 元気がないといにできないことも、できるよ  
 なることや、いつてもとんことでもできること  
 を早くできるよになるよがあるからだよ。  
 本日は授業を聞かせてくださってまことに  
 ありがとうございます。

新聞書き方講座を受けて

今日の新聞書き方講座を受けて分かったことがいくつかあります。

1つ目は「インタビュー練習」です。インタビューでは6W2H+時軸を意識することを学びました。6W2Hとは、いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どちらが、どのように、どれくらい、現在、過去、未来だと分かりました。

2つ目は「相手のリズムに合わせる」です。相づち、共感をし、知ったかぶりをしていない、素朴な質問をする。というのが分かりました。

最後は、「インタビューの後で〜こぼれ話」です。小さなことでもあらためて、いつごろ、何に載るか知らせる。というのが分かりました。このようなことをふまえてトライやるの新聞をうまくかけたらいいなと思いました。

新聞書き方講座を受けて

私は、新聞書き方講座を受けて今までの班で作る新聞とかは、あまりインタビューとかはなくて、たんとなくで書いていたけど、初めてちゃんとした講座を受けて新聞の書き方が分かりました。私は、あまり新聞に興味はなかったけど新聞のことを聞いて少し興味をもりました。新聞をちゃんと書いてみようと思いました。新聞の書き方講座では、新聞の書き方だけでなく、インタビューのしかたや写真の配置なども教えてくれたので新聞を書くときにいかしたいと思いました。

私は新聞書き方講座を受けて、まず第1に今の1年生に伝えきりたいなと思いました。

私は、昨年から将来の夢をもちはじめました。でも、この仕事をしている人はとても少ないと思います。なのでこの仕事を知ってもらいたいので、私はトライやる・ワークの間自分の知りたいことを知りつつ、この仕事に就きたいと思える人が1人でも多くいてくれるために見やすい、伝わりやすい新聞をつくりたいと思います。

インタビューをするときは、下調べをしておき本当に知りたいことだけを聴けるようにしておきたいです。

6W2Hを意識して話していきたいです。具体的に話をまとめて新聞に書きたいです。

見出しの出身記事の書き方を今回習ったことを生かして1年生に伝えていきたいです。



新聞書き方講座を受けて

今回の話を聞いて、今までの自分新聞の書き方は文字を写して、絵を書いただけだだけで、今回の話を聞いて、総合リポートや字真は適量分量でいい、濃く相手（読者）に書くのが大事だということと、相手の考えた新聞の書き方が大切だと思いました。今日、新聞の書き方を教えてくれて、気付いたこと、自分が満足する新聞を書く相手も自分を満足する新聞を書くことだということに気付きました。今後は、教習も、経験も色々と自分にとって役に立つように使いたいと思います。